



光ぞ晴れた

所在地 〒950-3343
新潟市北区上土地亀4981番地
電話番号 025-387-2412
E-mail j108kousei@city-niigata.ed.jp
学校 HP <http://www.kousei.city-niigata.ed.jp>

みんなで何かを成し遂げるということ

校長

保護者の皆様、地域の皆様には、夏季休業中、子どもたちの健康・安全にご配慮をいただきまして大変ありがとうございました。残暑が続く中ですが登校再開となりました。今秋の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

【8月25日 全校朝会より】

大変暑い夏でした。生徒の皆さんは、夏休みを健康で充実した中で過ごせたでしょうか。本日、学校を再開するに当たって元気に登校してくれたことに感謝したいと思います。

9月13日（土）の体育祭に向けての活動が進んでいます。

生徒会・体育祭実行委員をはじめ、各軍のリーダーや係の皆さんが夏休みを挟み、様々な準備を進めてくれていました。暑い夏の中での準備、大変ありがとうございました。いよいよチーム全体、学校全体での動きが始まります。

活動に打ち込んでいる皆さんの姿を拝見しながら、自分の「体育祭」の「おもっしえ（面白い）」経験の思い出でを辿ってみました。私は美術教師でもあるせいか、体育祭の思い出となると「パネル制作」ということになるのですが、私の卒業した中学校では当時応援用のパネルというものがありませんでした（現在はあるそうです）。ですので、私の「パネル制作」との出会いは高校1年生の体育祭でということになります。40年以上前の話です。

美術部に所属した私は、自分の絵がパネルになることを夢見て当然のように「パネル係」を希望し活動しました。さぞ、すばらしい絵を描いたと思われるでしょう？ですがそうではないのです。「パネル係」としての私の一番の思い出は「穴掘り」と「廃品回収」です。

私の高校は400Mトラック（ビッグスワンや陸上競技場と同じ大きさ）のグラウンドで、学年縦割りの6つのチームがグラウンドを囲むような斜面に応援席を設けます。応援席の後ろ、斜面の上にパネルが立つのですが、縦5M・横10Mという教室の壁よりも大きい絵が掲げられます。有名なピカソの<ゲルニカ>という絵よりも大きいサイズです。途方もない大きさです。このパネルを立てるためには、はさ木（刈り取った稲を天日干しにするために掛けるのに使う木）を地面から立てて絵をくくりつけるのですが、立てた木を固定するためには地面に穴を掘って、木のまわりに石を詰めて動かなくする必要があります。穴には前の年に使った、人の頭位の大きさの石がたくさん詰まっています。まずはパネル係の仕事はこのいっぱい詰まった石を掘り出して穴を掘ることです。穴は私の身長位あります。2週間、毎日放課後日が暮れるまで、泥だらけになりながら「穴掘り」をしました。

もう一つの思い出が「廃品回収」です。パネルの絵は模造紙をつなぎ合わせたものに描くのですが（これもまた途方もない面積）、模造紙だけだと薄くて破れてしまうので、模造紙を張り付ける土台となる部分を段ボールを張り合わせて作ります。さらに、段ボールだけだと立てた木にくくりつけることができないので、「こわり」という5センチ四方くらいの細い木材をつなげて木でできた木枠を作り、そこに段ボールごと絵を貼ります。出来上がりは障子戸みたいなイメージです。この絵を貼った木枠を、立てたはさ木にくくりつけ、応援の「パネル」が完成します。

ところが、体育祭の予算で買ってもらえるのは絵を描く模造紙と絵具だけなので、この段ボールや木材は「まち」とよぶ商店街周辺に出かけて行って、自分たちで調達（もらってくる）をしてこなくてはなりません。穴掘りと並行して段ボールと木枠という材料集めもするのです。「廃品回収」みたいに学校のリアカーを引いて学校と「まち」を何度も往復です。高校は小高い丘の上にあったので、荷物を満載した帰り道はとても大変でした。

肝心のパネルの絵はというと、上級生が描いていたので結局ぜんぜん描けませんでした。高校2年生の時の体育祭も、だいたいこのような感じで自分でパネルの絵は描けませんでした。高校3年、最上級生になりやっと自分の絵が描けるぞ！と思いましたが、体育祭実行委員長を引き受けることになり、チームのパネル係に名前は入れてもらいましたが、実際には絵を描く活動はできませんでした。ただ、毎年使い捨てるようになっていた絵を貼る木枠については、先生と生徒会にきちんと相談し予算をもらって材料（こわり）を買い、組み立て式にして毎年使えるようにしました。とても喜ばれました。もっとも、ボルトとナットで組み立てられるようにするため、6チーム分の、とんでもない量の木材に毎日「穴あけ」をするのが仕事になりました。「穴掘り」が「穴あけ」に変わった3年目でした。

結局私は、希望したパネルの絵を描くことは、3年間一度もできませんでした。

ですが毎年、体育祭の前日準備の日の夕方、チーム関係なく互いを手伝って、6枚のパネルが夕日の中で立ち上がり体育祭の会場ができた時には、涙が出るくらい感動しました。

体育祭という全校みんながかかわって創り上げようとしているものについて、「自分もその一人として関わって、成し遂げた」という喜びがあったと思います。自分自身が何かをやり切ったといううれしさや誇りかもしれません。40年経っても色あせない思い出です。

自分がそのことにかかわっている意識や気持ちを「自我関与(じがかんよ)」といいます。

自我関与があるからこそ、そのことを自分のことのように思い、泣いたり笑ったり一生懸命になれます。なにもしないで待っていても「面白い」はやってきません。自分から、かかわりをもっていくことで「つまんねえ」が「おもっしえ（面白い）」にかかわります。

9月半ばまでは「体育祭」、その後10月後半までは「合唱祭」と、皆さんが自分自身を周囲の人とともに高めていくことができる活動が続きます。

みなさん一人一人がかかわりをもって、自分なりの「おもっしえ（面白い）」経験ができるといいなと思います。きっと、何年たっても忘れない大事な思い出ができますよ。

令和7年度 光晴中学校体育祭

体育祭に向けての思い

体育祭実行委員長

今年の体育祭スローガンは「爽志走愛(そうしそうあい) そーしよう！」に決定しました。このスローガンの「爽志」には、さわやかに正々堂々と志をもって戦い、「走愛」には、仲間のために愛をもって走るという意味が込められています。

今年は4軍編成ということで爽の字の×の部分それぞれの軍を表しています。ぜひ体育祭当日にスローガンが描かれているパネルに注目してみてください。

私は体育祭実行委員長として、今年の体育祭を1年の中で一番楽しくて、思い出に残るものにしたいと思っています。全校生徒が心を1つにして思い出に残る熱い体育祭をこのスローガンの下、つくり上げます。

3年生を中心として軍分けされた4軍での戦い。今年はどんな盛り上がりを見せてくれるでしょうか。汗を流しながら仲間と協力し合う競技。声を枯らし体育祭を盛り上げる応援。軍の象徴を描き上げたパネル。そんな体育祭でしか味わえない瞬間を楽しみましょう。

黄軍 「煌星心結(こうせいしんけつ)」

軍団名には、光り輝く星のように、心を一つに結び、互いに繋がり、協力し合うという想いが込められています。応援パフォーマンスではパネルをイメージした振り付けや、懐かしい曲など、みんながわかる曲を主に使いました。見ている人もやっている人も、全員が楽しめる応援を作り上げたいなと思っています！

僕は、勝ちももちろん大切だけど、結果的に今年の体育祭が一番楽しかった、またやりたいと全員が思って終われる体育祭にしたいです。でも、軍リーダーになったからには、全力で勝ちに行きます！

黄軍のみんなと一致団結して笑顔で今年の体育祭を終わらせたいです。異学年との交流だから不安な人もいると思うけど、いい雰囲気仲良く、楽しくやっていきましょう。

青軍 「蒼炎戦神(そうえんせんしん)」

「蒼炎」は10000℃以上で燃え続ける大きな青い炎を表し、「戦神」は群れで協力し、狩りをして生活しているオオカミを表しています。つまり、青い炎のように冷静に、そして強く熱く他軍を圧倒する勢いで、オオカミのように青軍全員で協力し勝利を目指してほしいという思いが込められています。

パネルでもその思いが表現されています。応援パフォーマンスは、オオカミを連想させるカッコよさ、かわいさ、そして強さを表現するパフォーマンスや声があります。さらに青軍が絶対優勝するという気持ちが表れているところもあります。そんなリーダーを中心に、軍全員で協力する青軍のパフォーマンスです。ぜひ注目して見てください。

青軍の皆へ。とにかく楽しもう。全力で共に戦おう。優勝して最高の体育祭にしよう。

緑軍 「竜吟虎勝(りょうぎんこしょう)」

軍団名のもとにした竜吟虎嘯の意味を受け継ぎ、勝の字を変えました。緑軍全員の心をひとつにし、みんなで協力して総合優勝をしようという思いが込められています。パネルでは竜と虎というふたつの動物が描かれています。楽しみにしてください。

緑軍の目指す軍団は互いを支え合う姿がたくさん見える軍団です。応援パフォーマンスでは、虎のような勇ましいダンスと虎の吠える声みたいな力強い声、竜が美しく舞う姿を表現したダンスを意識して作りました。さらに、吟の字にちなんで祭りのように盛り上がるダンスも取り入れる、応援歌とコールでは自分たちでかしをかながえるなど試行錯誤を繰り返しました。

パフォーマンスの見てほしい部分はダンスもそうなのですが、工夫した声出しと隊形移動です。見ている方々をワクワクさせられるように軍リーダー・応援団長・副団長を筆頭に頑張ります。みんなが忘れられないくらい最高の体育祭を作りましょう！

赤軍 「一鬼闘閃(いっきとうせん)」

軍団名には、一人一人が鬼のように強く全員が闘う時に閃けるという思いが込められています。応援パフォーマンスにはバーニングフラワーの回しげりや、ヤングマンのYMCAのかけ声を入れて、赤軍だけではなくみんなで盛り上げられるところが一番の見どころです。また、ジゼル曲の隊形は軍テーマの鬼に関連させて金棒をイメージし、アラジンでも流れているフレンドライクミーの隊形は2つのグループに分かれて対決している風に演出しました。

みんなで盛り上げて最高の体育祭にしましょう！

体育祭プログラム

- 8 : 30 開会式
- 9 : 10 2学年種目 「今日、借り人競争してみました」 in 体育祭編
- 9 : 30 1年生全員リレー
- 9 : 50 3学年種目 限界突破!! 「君の名は」
- 10 : 10 2年生全員リレー
- 10 : 30 1学年種目 せんたっきーの戦
- 10 : 50 3年生全員リレー

(昼食・休憩等)

- 12 : 50 応援合戦
- 13 : 30 全校種目 全校大玉送り
- 13 : 50 選抜リレー
- 14 : 10 閉会式
- 14 : 30 解団式

(片付け、終学活)

- 15 : 45 生徒下校完了

爽志走愛
そーしょう!